



—現代経済問題の核心部解析—



07/8/31,

米国負債統計を見ると既に GDP=1500 兆円を 4 倍以上回る**実質破産**にある。だが承知如く世界からの**資金流入**で延命！,問題核心と今後を考える！.結論を先に言えば米国延命とそれを可能にする日本等には前代未聞の**政治経済的超モラル破綻**の存在が指摘できる。

[1]:米国経済は何処まで操縦可能か？=当に破産状態米国の延命理由？！
 =余剰国資金流入継続だから=戦争景気と詐欺的抵当ロン投機で？！
 =産油国,日本中国欧州等の対米黒字国事情。

①何が何でも需要=市場を作れ!,世界から余剰資金を吸い上げろ！。

く貧乏人には抵当ロンで買わせろ、それを金融ミンチにして世界にばら撒け！、

9/11 自作自演テロで戦争口実でっちあげ！、イラク戦争で大消耗、軍需景気を！！>

米国はGDP=1500 兆円を 3 倍以上,上回る累積債務(政府+州,企業,金融,家計)で当に**破産状態**にあるのになぜ延命するのでしょうか？。**勿論際限なく資金流入が継続してるからですが**。最近問題になった抵当ロンは米貧困層対象、だから最初からヤバイを承知でミンチにして金融派生商品に混入！。

彼らが買いたがるのは貧乏なればこそ。新車住宅なんていずれは**市場飽和到来(=不況化)**は明白。抵当ロン破綻は住宅供給過剰に推移します、。

日本同様に経済完成国だから、**米国が過度にインフレ化**してる点が今一疑問！。日本は不況時には売れないからひどいデフレ,好況下でもさしたるインフレに無い。利子はほとんど 0 状態。だから海外勢にすれば、日本円で大借金して \$ を買い、それで米国等でマネーゲームに興じると言う仕組み。

米国はそれに比較して高インフレ、だから皆まじめに貯金しない。\$ 札を勝手に印刷してるのではないのでしょうか？。輪転機さえ回せば紙に \$ 刷何て簡単？！.借金返済なんか怖くない。

☞：[田中宇氏のサイトが指摘してる。](#)な何と米連銀は昨年三月より通貨供給量公表を中止。やっぱり本物の偽札を安易に印刷してしまったらしい。だから石油や穀物インフレが世界に波及。

もう一つ理由は**戦争経済で大消耗**がある。それが大赤字,逆に国内的に**所得増をもたらすので好景気**。理由は戦争経済でないでしょうか。市場需要を戦争破壊で作る訳ですか？！。クリントン時代はまじめにITで経常財政黒字化を辛うじて達成したが、ブッシュはそれをぶち壊し！、世界に膨大な悪魔弊害を撒き散らしてる訳です。

②**かような状況承知で産油国、日本中国欧州等の対米黒字国事情の思惑？！。**

07/8 月になって米国サブプライムロン破綻が発覚,欧州金融当局等は焦げ付きに対して巨額資金支援をしてる。関係者証言によれば問題ロンが細かく証券化されて各種金融商品に粉飾されて損害総額が幾らに昇るか不明と困惑.プロが騙されてたのは明白！. 過って日本 90 年直前に金余りで地価不動産.株一斉上昇が起こり,皆が挙って財テク=マネーゲーム(勝者敗者利得総計 0)に走り,慌てた金融当局が資金源に急ブレーキ,途端に墜落での兆大火傷。皆が真相無知だった事になる！(本当に誰も筋書き知らず??). マネーゲームに関して確実な事は誰も己サイフの利己主義だけで行動選択する点だろう。**しかも勝負は情報、騙した方が勝ち、騙された方が負けと言う事！。**

[2]:付加価値所得(実態経済)と不労所得(マネーゲーム)の差異本質:

①実態経済と虚態経済?(金融部門)/財務企業と非財務企業の種類:

以下では通貨流れ=取引での誰彼の損得に注目。

- (1)財サービス生産の現物取引での利益獲得が**実態経済**。
通貨と財サービス等価交換。原則的に両者に損失と不当利益なし。
- (2)供給量不安定資源商品価格供給量確保合意での実物の先物取引(**準実態経済**)。
決済日商品価格次第で不労利益,もしくは不労損失発生(等価交換とマネーゲーム混在)。
- (3)新株発行.社債での企業投資からの収益が配当利子の不労所得になるのが**純投資**。
株(含企業売買)は通貨生産耐久財,又は企業倒産では消費財化(**純消費**)。
破産債務不履行では不労損失,利益は企業設備投資での被雇用者.商売先等。
*負債では通貨資産総量=負債総量の**0サム定理**が機能.経済成長は負債先導。
景気失速面では**債務不履行が起こる**.その前段が公的金融支援,負債は公的機関の付け。
- (4)上場株.利回り債権.為替.先物商品市場等での**売買(利率)差益目的=マネーゲーム**。
売買差益目的では取引参加者総和での通貨資産総量は**不変=0サムゲーム(虚態経済)**。
0サムゲーム(虚態経済)は騙した者が勝ち、騙された方が負けるの情報勝負になる。
金融市場は必ず**実態経済反映**であって,通貨危機などの言葉に騙されない事!。
- (5)更に上記(3)(4)**ハンバーガー化金融派生商品の信託投機(ファンド)**。
- (6)円低金利-円為替安で大資本調達,\$為替高-高金利で大規模運用。誰が儲け,誰が払う?

②利益を生む構造:

- (1)実態経済=財サービス生産の**付加価値**。
- (2)転売価格差益=**0サムマネーゲーム**(誰かが儲け,誰かがその分損失)

③インフレ,デフレ=価格変動(<物価,株価> vs 通貨価格=<金利,為替>):

$$P_{jk} N_{jk} = \omega_{jk} I_k \quad \dots \dots (1)$$
$$\sum_k P_{jk} N_{jk} = \sum_k \omega_{jk} I_k \equiv \langle \omega_j \rangle \sum_k I_k \equiv \langle \omega_j \rangle I.$$
$$\equiv P_j \sum_k N_{jk} \quad \equiv P_j N_j.$$

$$P_j = \langle \omega_j \rangle I / N_j \quad (2)$$

上記(1)式は買い手k,売り手j間の取引.価格 P_{jk} ,取引量 $=N_{jk}$,可処分所得 $=I_k$,需要強度 $=\omega_{jk}$,この式はインフレ,デフレを定量性において忠実に表現できる。

(2)は買い手k総和だから商品j市場 $=P_j N_j$,総通貨流通量Iに関する一般式になる。

- (1) $\langle \omega_j \rangle / N_j =$ 一定値.需要強度/供給量=一定下では価格 P_j は通貨流通量Iに比例する。
経済完成された先進国では需要強度と供給量共に安定基調になるので,**インフレ**あらば**通貨流通増**に起因。中央銀行発行の通貨量増大は負債?!に起因。
- (2)常識通り,需要増 $\langle \omega_j \rangle$,供給減 N_j ではインフレに作用する。最近の例は石油価格。
だから不況化では一般にデフレ化,だが通貨破産国等の通貨流通増では**スタフレ**になる。
- (3) $P_j =$ 利率(為替率)、 $N_j =$ 資金量と見れば物価同様な金融.為替の関係式が成立。
\$高は海外の\$札需要による。米国投資と国際流通が\$決済になるから。
米信用不安は余剰資金の行き場を失いつある。捻じ曲がって何処に流れるか?。
それ以上のユーロ#高は資金が不安な\$から信用の#に移行してるからだ?!。

異常な円安, 低金利は金余り日本を典型象徴、1/4 国民が総所得 75%以上独占だから。

(4)日本の定性分析＝経済政治モラル破綻国日本！

(a)家計収入相当の国民所得分布が重大. 1/4 が 75% 以上独占なので超金余りが発生、それが異常低金利化＝無利息相当で海外勢が借り集めて米国投機資金に！。

*ネット情報丸呑みでジニ係数 0.5 が 75% としたが誤り. 税引き等と社会保障給付での補正值はこの 10 年横ばいの 0.38 台との厚生労働省情報。目的ファイルが一番下の社会保障. 10 年横ばいとはいささか現場を見ると信じがたいのだが (07/9/15 更新)。ぜひ判りやすい正しい所得分布データの要求は上記 URL 厚生労働省へ。

(b)劣悪不正雇用環境がその所得分布を形成。国民を奴隷扱いで米国に資金上納日本！。

(c)富裕層は納税しないから財政赤字累積、財政＝将来国民福祉を犠牲に米国資金上納！。

(5)米国の定性分析＝経済政治モラル破綻国米国！

(a)米は既に GDP＝1500 兆円を 4 倍以上回る実質破産！。だが世界の資金流入で延命！、危険なのになぜ流れるか、米以外に投機市場がない。(抵当ロンと戦争) 景気＝大借金。

(b)その借金資金源は日本の金余り、中東の石油 \$ 等の投機マネに起因。投機マネ特長は一般的には利得リスク判断のみの利己主義で動作。

(c)抵当ロンは返済疑問債権をミンチで誤魔化し、戦争景気発端は 9/11 自作自演テロ！、

(6)対米資本輸出国の問題点：

(a)中東産油国：

サウジはオイルマネで豊かな国で国民も恩恵にある。だがイスラム諸国と言う立場からすれば対米支援は如何なものか、投機マネが戦争を可能にしてる。勿論この責任は日本も逃れないし中国欧州も同様。投機マネにはモラルがない もう一つはイスラム内部分裂＝対米協力者に対する自爆テロ攻撃だが、遣りすぎだ。宗教指導者はより高い次元でイスラム内部統一をなぜ図らないのか？。源教義にそぐわないのだ。

(b)中国：

日本同様に国民格差, 国民健康, 工業化汚染を無視して対米交易利益を対米投機してる。

(c)欧州：

英国は明白にデタラメ強行のイラク暴挙米国加担、その他諸国も強い対米姿勢がない。基本的に欧州もより洗練された貴族財閥支配伝統が背景にあるからだろう。

(7)世界はサタン呪術＝米資本主義幻影に見事幻惑されてる。

経済思想と理論が無い！。

正解は見事に簡明である、己は上等, 他は下等のサタン路線の逆と言う事！。

[3] 経済全貌を語る分配 (収入, 支出) 行列：<参書:鈴木, 経済回路網力学, 時事問題工房>

年間経常数字を行列要素に代入すれば経済系の全部状態 (stock & flow) が一望できる！

周知如く株価が経済反映数字として取りざたされる。だが企業株価その物で企業破綻、雇用破綻＝生活破綻＝真の実態経済破綻という事ではない！。企業好況、凋落、破綻兆候が株価を上下させて実態経済での連鎖反応を懸念もしくは好感する事で株価上下が起こる。その事は以下収支行列全貌での名経済主体個別成績としても映される。

名企業, 国民の所得分布が詳細公開されないのは遺憾！。

→ ↑		政府支出 ↓	企業支出		家計支出 ↓	海外 ↓	財資産累積
			金融部門	非金融部門			
政府収入 ←		政府地方 累積債務	納税	納税	納税		行政資産, 公社
企業 収入	金融 ←	公債利払い	金融累積 債務	利払い	ロン利払い	財務収入 -損失計上	金融資産
	非 金融 ←	政府発注 +補助金	預金利子	留保-社債 -損失計上	財貨購入 -損失計上	輸出	株, 企業資産
家計収入 ←		公員給与 社会福祉	給与 預金利子	給与	預金-負債		不動産, 家財 有価証券等
海外収入 ←		対外援助	財務収入	輸入		債権-負債	海外財資産

(1) 経済主体 = {政府、企業(金融, 非金融)、家計、海外}.

金融内部間取引も現実には重大, その時はより細かい経済主体に区分での行列表示、たとえば非財務部門も農業、製造業、流通サービス等に詳細化する。

(2) 名経済主体の横軸は収入軸、縦軸は支出軸、対角線項 = 余剰累積 - 負債累積

対角線上の数字総和 = 0 = 通貨資産総計 - 負債総計。<0サム定理>

利子は縦横に移動、**借款元本は対角線上移動に注意!**。その詳細を極めるには同じく名N個経済主体のN×N行列別表を描き、入出数字を行列要素に書くのは同じ。

(3) 名経済主体の自己自己取引 = 余剰累積 - 負債累積。対角線は金融状態を表示、

灰色は赤字、黄色は黒字推移。

(4) 上記は経常収支、支出に伴う財購入は耐久財消費財にしても**財資産累積**に注意。

物資産累積は負債相殺の担保効果あり。